

ペットと災害時の安全

ペットは家族の重要な一員であり、準備計画に含める必要があります。衛生上の理由から、介助動物を除いて、ペットは、緊急避難所には同伴できません。緊急時には、ペットの安全を確保するため、次のステップにしたがいます。

プランを立てる

事前にプランを立てておくことは、災害発生に備え、ペットの安全を確保するための第一歩です。

- 避難経路沿いにあり、緊急時にペットを受け入れるホテルやモーテルを探します。避難しなければならない可能性がある場合は、事前に予約しておきます。ペット同伴不可のポリシーが緊急時に免除されるかどうかをたずねます。
- 緊急時にペットを預かってくれる友人、親戚、避難所、シェルター、獣医を探します。電話番号のリストを準備します。
- ペットは家族といっしょにいる方が落ち着きますが、別の場所に收容されることがあります。
- 避難訓練にもペットをつれて行き、キャリアに入ったり、移動できるよう慣れさせておきます。
- ペットの予防接種が最新であり、すべての犬や猫は最新情報を記載した首輪をしっかりと付けていることを確認してください。多くのペットシェルターでは、病気の蔓延を防ぐため、最新の予防接種証明が必要となります。
- マイクロチップを付けることを獣医に相談してみましょう。

キットを入手する

災害キットには、少なくとも72時間それぞれが困らないだけの必需品を家族全員分用意します。ペットについては、次のアイテムを含めます。

- ペットフード
- 水



- くさり
- 猫用のトイレまたはビニール袋
- 身分証明タグ
- ペットの写真
- 医薬品
- 医療記録
- ペットの救急キット
- キャリア

情報を得る

- 警告は、数時間、数日前に発令されることがあります。災害の最初の兆候が発生したら、ペットを保護するために行動します。緊急避難で自宅を離れるときに、探さなくてもいいようにペットを屋内に入れます。
- 凶暴になるまたはおびえるなど、ペットの行動が、災害後大きく変わることがあります。他の人や動物の安全を確保するため、ペットの状態に気を配り、危険から守ります。
- 問題ある行動が続く場合は、獣医に相談しましょう。